

(別紙5)

調 査 報 告 書

外部評価項目構成

| | 項目数 |
|--------------------------------|-----------|
| I. 理念に基づく運営 | <u>11</u> |
| 1. 理念の共有 | 2 |
| 2. 地域との支えあい | 1 |
| 3. 理念を实践するための制度の理解と活用 | 3 |
| 4. 理念を实践するための体制 | 3 |
| 5. 人材の育成と支援 | 2 |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | <u>2</u> |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | 1 |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | 1 |
| III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | <u>6</u> |
| 1. 一人ひとりの把握 | 1 |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | 2 |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | 1 |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | 2 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | <u>11</u> |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | 9 |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | 2 |
| 合計 | 30 |

| | |
|---------|---------------------|
| 訪問調査日 | 平成20年2月25日 |
| 調査実施の時間 | 開始10 時 分 ~ 終了15 時 分 |

| | |
|-------------------|--------------------------|
| 訪問先事業所名 (都道府県) | グループホームみずいろの郷 (福島県) |
|-------------------|--------------------------|

| | |
|----------|--|
| 評価調査員の氏名 | 氏 名 <u>熊谷まゆみ</u> |
| | 氏 名 <u>大野恒夫</u> |
| 事業所側対応者 | 職 名 <u>管理者</u> |
| | 氏 名 <u>田中裕子</u> ヒアリングを行った職員数 (1)人 |

※記入方法

- 「取り組みの事実」欄は、ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入してください。
- 「取り組みを期待したい項目」欄は、今後、さらに工夫や改善が必要と思われる項目に○をつけてください。

※項目番号について

- 外部評価項目は30項目です。
- 「外部」にある項目番号が外部評価の通し番号です。
- 「自己」にある項目番号は自己評価で該当する番号です。参考にして下さい。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

〔認知症対応型共同生活介護用〕

1. 調査報告概要表

作成日 平成20年3月1日

【評価実施概要】

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 事業所番号 | 772100624 |
| 法人名 | 株式会社アフロサービス |
| 事業所名 | グループホームみずいろの郷 |
| 所在地 | 福島県本宮市本宮字館町122番地1 0243-34-6003 |
| 評価機関名 | 会津医療生活協同組合 |
| 所在地 | 会津若松市東千石1丁目2-13 |
| 訪問調査日 | 平成20年2月25日 |

【情報提供票より】 (20年2月1日事業所記入)

(1) 組織概要

| | |
|-------|--------------------------------|
| 開設年月日 | 平成 17 年 4 月 1 日 |
| ユニット数 | 1 ユニット 利用定員数計 9 人 |
| 職員数 | 11 人 常勤 8 人, 非常勤 3 人, 常勤換算 1.1 |

(2) 建物概要

| | |
|------|--------------|
| 建物構造 | 木造 造り |
| | 1 階建ての 1 階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | | |
|---------------------|------------------|----------------|-------|---|
| 家賃(平均月額) | 27,000 円 | その他の経費(月額) | 円 | |
| 敷金 | 有(円) ○ 無 | | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 有(円) ○ 無 | 有りの場合 償却の有無 | 有 / 無 | |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 | 円 |
| | 夕食 | 円 | おやつ | 円 |
| | または1日当たり 1,000 円 | | | |

(4) 利用者の概要 (2月1日現在)

| | | | | | |
|-------|-----------|------|------|----|------|
| 利用者人数 | 7 名 | 男性 | 2 名 | 女性 | 5 名 |
| 要介護1 | | 要介護2 | | 5 | |
| 要介護3 | 1 | 要介護4 | | 1 | |
| 要介護5 | | 要支援2 | | | |
| 年齢 | 平均 82.3 歳 | 最低 | 73 歳 | 最高 | 91 歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|--------------------|
| 協力医療機関名 | 柘記念病院 鈴木歯科医院 よしだ内科 |
|---------|--------------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

新興住宅街の一角に位置し閑静ではあるが、近隣にスーパーや食堂、商店などがあり、外出しやすくなじみの関係をつくりやすい環境にある。開所以来職員の移動、離職もなく必要に応じて人員を増やしたり外部研修の参加機会を多くしたりするなど運営にたいして母体法人の理解が得られている。今後も研修の機会を多くし、入居者はもとより、地域からますます頼りにされる、存在がよろこばれるホームになるよう期待したい。

【重点項目への取組状況】

| | |
|-------|---|
| 重点項目① | 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) |
| | 外部評価の結果を回覧し、改善点であった介護計画を職員で共有しチームケアへの取り組みはみられたが、地域密着型サービスの理念をわかりやすく具体的な言葉でまとめあげてはされていない。 |
| 重点項目② | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) |
| | 職員一人ひとりが自己評価を行いそれをもとにまとめあげている。 |
| 重点項目③ | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5) |
| | 定期的に推進会議が開催されている。グループホームについての理解は進んでいるが、継続的な積み重ねで、頼もしい応援団になってもらうためにも委嘱状などでメンバーを固定するのが望ましい。 |
| 重点項目④ | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) |
| | 入居者の家族への声掛けやかかわりへのお願いを積極的にしているがなかなか応えてもらえない。時間をかけて運営への参加をお願いしてほしい。 |
| 重点項目⑤ | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) |
| | 地域全体が希薄であるが一部なじみの関係もできつつある。ホーム便りなど配布しながら助け、助けられるご近所関係を作り上げて欲しい。 |

2. 調査報告書

主任調査員氏名 熊谷まゆみ / 同行調査員氏名 大野恒夫

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|---|---|----------------------|--|
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 地域密着型の役割は理解されているが理念の見直しはされていない。 | ○ | 地域密着型サービスを配慮し、わかりやすい言葉で具体的なケアに結び付けられるような理念を作り上げて欲しい。 |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 定期的に理念に触れての話し合いを行い実践に結びつけケアの統一を図っている。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 地域への行事に積極的に参加したり近所の商店を利用したりと地域との関係づくりに努力している。 | | 回覧板やホーム便りの配布などをおして向こう三軒両隣の付き合いかたも考えて欲しい。 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 職員全員が評価の意義を理解し前回の評価についても周知している。今回も自己評価を行い、それをもとにまとめ上げられている。 | | 各人それぞれの自己評価をもとにみんなでそれを深める話し合いの場を持つことも期待したい。 |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------|------|--|---|----------------------|--|
| 5 | 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 概ね定期的に開催され、グループホームについての理解が進み話し合いも活発にされている。 | | 継続的な審議や改善など積極的に運営に参加していただくことを考えると運営委員のメンバーの固定化も検討されたい。 |
| 6 | 9 | | | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 毎月生活の様子をコメント入り写真でお知らせしている。金銭管理の報告もあわせてしている。 | | |
| 8 | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 運営の参加や本人への関わりを求めているが家族からあまり良い反応は得られない。 | | 引き続き、関心を持ってもらえるよう働きかけを期待したい。 |
| 9 | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 開所以来異動も離職者もなく安定している。 | | |


| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---|------|--|--|----------------------|----------------------------------|
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | <p>運営者と管理者は研修の重要性を理解し外部研修に積極的に参加させている。</p> | | <p>内部研修の実施も期待したい。</p> |
| 11 | 20 | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | <p>全国や県の連絡会に入っており情報交換を行っている。</p> | | |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入) | | | | | |
| 12 | 26 | <p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している(小規模多機能居宅介護)</p> | | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | <p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p> | <p>お茶の時間などを利用してゆったりと共に過ごす関係を意識的に作っている。</p> | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---|------|---|---|----------------------|-----------------------------------|
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 実態調査時の家族の聞き取りや、利用していたサービス担当者との情報交換、日常的には「今日の発見、ワンポイントケア」などの記録用紙で思いや意向を把握している。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | ケース記録や業務日誌に全職員がそれぞれが書き込んだものをまとめあげ介護計画を作っている。 | | |
| 16 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 全職員が介護計画の評価や記録をし、それをもとに利用者の状況にあわせて家族と相談しながら計画を作っている。 | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入) | | | | | |
| 17 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている(小規模多機能居宅介護) | | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|---|--|----------------------|-----------------------------------|
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 利用者や家族の希望でかかりつけ医を決めている。受診の付き添いを家族がやる場合は情報交換をしている。 | | |
| 19 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 医療連携体制がとられ重度化の方針が作られている。 | | 終末期についての具体的な方針も話し合っ て欲しい。 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 日々対応や言葉掛けの仕方を意識し、必要な時は職員同士注意し合っている。個人情報 はスタッフルームに管理されている。 | | |
| 21 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に し、その日をどのように過ごしたいか、 希望にそって支援している | 決まった日課はなく一人ひとりの要望で散歩 や買い物、畑仕事などしている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---|------|---|---------------------------------------|----------------------|-----------------------------------|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | 毎食ごとに話し合いながら献立をきめていて献立づくりから楽しんでいる。 | | |
| 23 | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 日中は毎日入浴できるようになっている。週1から2回は温泉の湯を使っている。 | | 夜の入浴も検討してほしい。 |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援(認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入) | | | | | |
| 24 | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている(認知症対応型共同生活介護) | 一人ひとりの体力や希望に応じてホームの役割や趣味に励んでいる。 | | |
| 25 | 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している(認知症対応型共同生活介護) | 散歩や外食、買い物など外出する機会が多くとられている。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 鍵はかけられていない。人の出入りが察知できるようセンサーがついている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------------------------|------|---|---|----------------------|----------------------------------|
| 27 | 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 避難訓練が行われていない。 | ○ | 消防署や地域住民の協力を得て避難訓練をやってほしい。 |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 一人ひとりの食事や水分の摂取量は把握しており状態に応じて調理の仕方も変えている。 | | 年に1～2度献立や摂取量など栄養士の指導を受けて欲しい。 |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1) 居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | ゆったりして広くて明るいダイニングは季節の花や絵が飾られ清潔ですっきりしていた。トイレや風呂場、洗面台も清潔不快臭もなかった。 | | |
| 30 | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | ベッドも含めて備え付けはないので全ての家具や備品はなじみのものを持ち込みやすい環境になっている。 | | |

※  は、重点項目。

3 評価結果に対する事業所の意見

グループホーム みずいろの郷

記入担当者名 管理者 田中 裕子

評価結果に対する事業所の意見

なし

評価結果に対する「事業所の意見」の記入について

意見については、項目No.を記入してから内容を記入してください。